

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名	平成28年度第2回安曇野市公民館運営審議会
2	日時	平成28年12月21日 午前10時から午前11時20分まで
3	会場	安曇野市役所 会議室301
4	出席者	内田 浩志会長、佐治 良夫副会長、羽重 暁雄委員、隼田 和子委員、 曾根原 幸人委員、西川 則子委員、峯村 宏委員、望月 芳雄委員、 関 晏弘委員、佐々木 重昭委員、熊井 美和子委員、栗幅 宣吉委員、 三好 さき子委員
5	市側出席者	橋渡教育長、山田教育部長、中央公民館蓮井館長、豊科公民館内川館長、 穂高公民館中田館長、三郷公民館千國館長、堀金公民館山田館長、 明科公民館安井館長、中央公民館藤森主事、臼井主事、田原主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成28年12月27日
協 議 事 項 等		
1	会議の概要	(1) 開 会 佐治副会長 (2) あいさつ 内田会長、橋渡教育長 (3) 協議事項 ①平成29年度事業計画（案）について (4) そ の 他 (5) 閉 会 佐治副会長
2	協議事項	① 平成29年度事業計画（案）について（説明：中央公民館藤森主事、各公民館長） 【委員】それぞれの公民館事業の予算は、市から補助されるということでしょうか。 【事務局】補助ではなく、市の予算として執行します。 【委員】予算の額は、地域ごとに人口割で決まるのでしょうか。 【事務局】市民運動会交付金は、人口によって金額を決めていますが、他の事業については、人口によって金額を決めることはありません。 【委員】市民運動会交付金は、何のために交付をしているのか、教えてください。 【事務局】市民運動会に携わる方々の昼食代などのために、それぞれの実行委員会へ直接支払われるものです。なお、一度交付して、それぞれの実行委員会から実績報告書を提出していただき、使われなかった金額は返還していただいています。 【委員】「これくらいの経費がかかるから、これくらいの交付金がほしい」というのであれば納得ですが、人口割でお金を交付して、余ったら返還をするというやり方は、ありえないです。 【事務局】運動会を実際に運営していくためには、体育協会などの団体から大勢の皆さんの協力が必要になります。協力していただく皆さんへの経費です。

【事務局】市民運動会は、当初、各地域における一大イベントでした。そこで、市としても推進するために交付金として支出をしてきたと考えています。ただ、諸般の事情で地域により金額のばらつきが出てきていますので、御指摘いただいた件につきまして検討をしていきたいと考えています。ただ、市民運動会を実施していただかないと交付金を支出していないというのが現状ですので、御理解をいただけたらと思います。

【委員】中央公民館で各地域のバランスを見ていますか。予算額を見ますと、地域ごとで金額にかなりばらつきがあります。その点について、どのようにお考えですか。

【事務局】各地域公民館から事業計画や予算案を提出していただき、精査した上で予算化しています。人口規模に伴っての予算配分は行っていません。

【委員】各公民館事業を拝見しますと、中央公民館事業に全く統一性がないです。中央公民館でそれぞれの事業をもう一度チェックをして、指導をお願いしたいと思います。

また、公民館事業に体育関係が多いのですが、各地区でかなり負担になってきていますので、思い切って体育協会に任せて公民館は手を引く、ということも将来的に考えていく必要があるのかどうかについて、お尋ねします。

【事務局】公民館長会のなかで、事業の重複や各公民館の意向について情報交換をする場を設けています。まだまだ精査するべき点はありますが、今後も、連絡調整を図って、事業の内容等の改善を進めていきたいと思っています。

【事務局】体育関係の事業が多いという御指摘ですが、健康寿命の延伸という観点から、公民館としても体育関係の事業は重要な位置づけだと思います。なお、体育協会が本年4月にNPO法人化されました。それに伴い、体育協会の組織が変わってきているようです。ただ、公民館としては、地域づくりや地域のつなぎ役としてという部分において、実際にスポーツをされている体育協会の御協力が非常に重要だと思います。

【委員】中央公民館事業費と各公民館事業費で分けてあるのは、予算的な理由でしょうか。それとも人間的な理由でしょうか。

【事務局】公民館条例には、各公民館はそれぞれの地域を対象として事業を行うとあります。しかし、現実問題として、他地域にお住まいの方も講座に参加していますので、各公民館で行う講座は中央公民館事業費という形で予算を一括計上し、市内全域の方を対象として「広報あづみの」で参加者を募集できるような対応をしています。

【委員】託児所についてお尋ねします。例えば、豊科公民館の夕涼みセミナーや親子ふれあい塾などに参加したくても、小さいお子さんがいるため参加が難しいという場合に、託児所があれば参加しやすいと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】堀金地域で開催されている家庭教育講演会では、託児所を別室に設けて予めお子さんの人数を把握した上でベビーシッターをお願いしています。

【委員】ベビーシッターについて予算化していますか。

【事務局】予算化しています。

【事務局】 夕涼みセミナーに小さいお子さんは来ていません。親子ふれあい塾につきましても、小さいお子さんが延べ3人来ていましたが、私たちで対応ができました。今後は、小さいお子さんが講座に参加されたときに、堀金公民館で対応していることを、豊科公民館も参考にしたいと思います。

3 その他

【委員】 穂高公民館にお聞きします。平成28年度の当初計画のなかに、運動会に代わる行事の模索ということでイベント検討委員会を計画されておりましたが、どのような話し合いになりましたか。

【事務局】 本年4月から7月の間にイベント検討委員会を3回ほど実施しましたが、運動会に代わる新たな行事を開催するのは無理であるということ、そして、毎年8月に実施している納涼祭には、穂高地域のほとんどの地区公民館が参加しているため、納涼祭を充実させるという結論を出しました。実施時間などの細かい内容については、今後検討をしていきます。